

風の便り

第1号（2009年4月19日発行）

伊豆を愛するすべての人へー巨大な風車より雄大な風景を残そう

第1回市民フォーラム、下田で開催 伊豆半島の風力発電は伊豆を愛するみんなの問題

伊豆半島各地で建設が進む風力発電の問題点を話し合う「第1回市民フォーラム」が4月18日に下田市内で開催され、伊豆の四市四町、そして愛知県からも参加者が集まり、総勢50人が三時間にわたって意見交換を行いました。



地球に優しいといわれる風力発電は、他方で自然や景観を破壊し、騒音や低周波による健康被害をもたらすなど、建設地域に大きな犠牲を求めます。フォーラムでは住民不在のまま進められている南伊豆の事業や、東伊豆や愛知県で起きている健康被害の実態が報告されました。

国立公園に位置する伊豆の手つかずの大自然は私たちの大切な宝であり、最大の観光資源です。フォーラムでは、一定方向に風が吹く広大な平地ならいざ知らず、美しい稜線を崩して民家からも近い伊豆の山々に風車を建てる意義が問われました。



風車の乱立を許す背景には自治体や市民の意識の低さもあるとの厳しい指摘もありました。フォーラム後の懇親会では、有志によって無農薬の赤米や黒米のおむすび、地元の野菜料理がふるまわれ、長時間にわたって意見を交わした参加者たちが交流を楽しみました。市民フォーラムは今後も伊豆の各地で開催される予定です。